

授業概要

科目名		日常生活援助学実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
日常生活動作の動作観察・分析を行い、分析技能の向上を図る。また各疾患ごとの特徴を踏まえ、問題点や原因を考え作業療法に結びつける力を修得する。また対象者に適応する自助具検討・作成を試みる。									
〔授業全体の内容の概要〕									
これまでに学修した作業療法評価学と日常生活動作評価学の知識を統合し、様々な疾患をベースにした患者様のADLの観察およびその支援について学修する。ADLを支援するための具体的な手段についての学修を深めると共に、包括的な観点からADLを支援する必要性を理解する。さらに症例検討の演習を通して実践的にADLの支援方法を修得する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕									
1. 基本動作(寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗など)、移動、日常生活活動について分析ができる。 2. 様々な疾患の特徴を理解したうえで、適切な援助や介助することができる。 3. 自助具作成等を行い、ADL支援の具体的な手段を提案することができる。									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	日常生活活動の分析【姿勢分析・動作分析】								
3	バリアフリー展見学								
4	バリアフリー展見学								
5	基本動作の分析【寝返り・ポジショニング】								
6	基本動作の分析【起き上がり・座位】								
7	基本動作の分析【立ち上がり・移乗】								
8	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【食事・介助方法、整容】								
9	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【排泄】								
10	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【更衣】								
11	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【入浴】								
12	IADLの正常動作の特徴と分析								
13	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【関節リウマチ】								
14	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脊髄損傷】								
15	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脊髄損傷】								
16	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【整形疾患】								
17	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【老年期】								
18	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脳血管疾患】								
19	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脳血管疾患】								
20	福祉用具・住環境、自助具について								
21	自助具検討								
22	自助具作成演習								
23	自助具作成演習、発表								
	定期筆記試験								
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
新版 日常生活活動(ADL)-評価と支援の実際-					伊藤利之 他		医歯薬出版		
ゴールド・マスター・テキスト 日常生活生活学					長崎重信 他		MEDICAL VIEW		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】									
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする									